

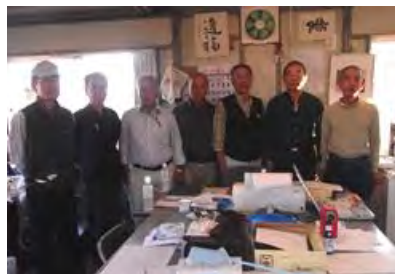
ふるさと豊間 復興協議会の 3年間の取り組み

「新しい東北」官民連携推進協議会会員交流会

2014/3/16

平成23年度(2011年度) 活動・復興プランの調整

- 2011年8月28日 ふるさと豊間復興協議会設立(地区各団体)
9月26日 復興プラン検討 協議会案を決定
9月29日～10月26日 市との摺り合わせ会議3回
10月31日 市の復興プランと条件付き一本化
11月10日～16日 全体町会別説明会5回、協議会主催
11月26日 復興方針の確認、意向調査結果報告
12月 災害公営住宅の早期建設を市に要望
2012年1月～3月 市計画案(区画整理)の協議会との調整



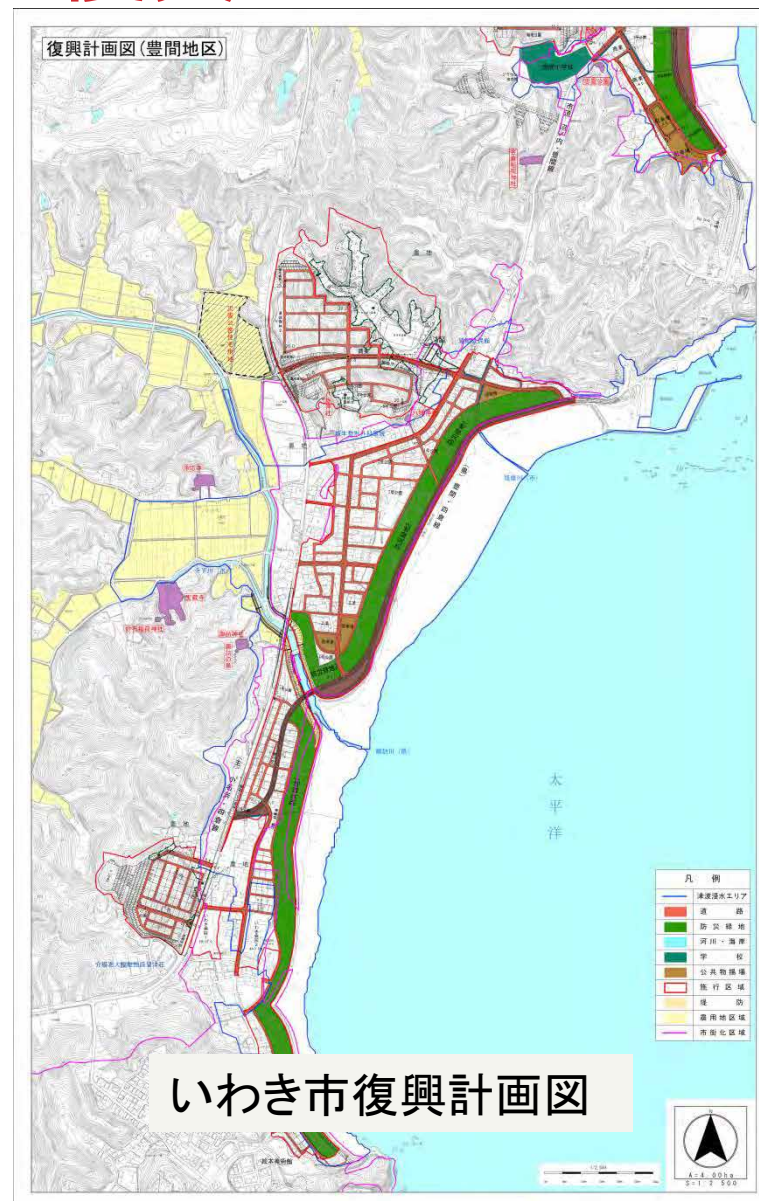
復興まちづくり案／市の復興 計画案

災害公営住宅団地
(6月より入居開始)



サポートセンター

復興協議会の計画案



いわき市復興計画図

平成24年度(2012年度)1/3 事務所・生活サポートセンターの設置

◆2012年5月～6月 3回7日間

ワークショップによる事務所棟建設(地元有志、一般、学生ボランティア)

◆7月末～11月初

Tホーム支援によるサポートセンター建設



平成24年度(2012年度)2/3 住民ワークショップの開催

公 營 住 宅	第1回～第5回 9/1、9/2、10/7、11/24、 11/25 ◆住民の参加者 延べ130名	提言1 住宅周りの共用スペースみんなで作る。 提言2 集会室その他の共用施設設備をみんなで作る 提言3 コミュニティを再生する入居応募 募集の仕方にする 提言4 元気な町地町会（入居者管理組合）をつくる
生 活 産 業	第1回～第7回 9/15、 9/16、10/6、11/10、 12/8、12/8、12/9 ◆住民の参加者 延べ180名	提言1 産業拠点、生活拠点をみんなの力で再生復興する 提言2 互いを守るコミュニティを再生復興する 提言3 地域のみんなで子どもを守り育てる街を創る 提言4 みんなが誇れる若者の戻る美しい街を創る
中間提案報告会 10月28日 最終提言発表会 平成25年1月27日		
東京専門家支援グループ 延べ80名 いわき市建築士会青年女性委員会 延べ60名		

提言 : 若い世代、子どもが戻れる街を創る

平成24年度(2012年度)3/3

情報発信／コミュニティを繋ぐ



- ◆広報紙「ふるさと豊間だより」の毎月発行；
郵送や回覧で全戸配布を目指す。(9月から)
ホームページの開設。メール配信準備中。
- ◆生活再建相談会(週2回)開催；
サポートセンター(12月から)で、専門家アドバイザーによる相談。
- ◆移動連絡所(face to face の情報発信)；
バン型自動車をリースして被災住民の仮住まい先に出向き、豊間区移動連絡所に仕立てる。
双方向のきめ細かい情報交換を行い、区役員等が出向くことで郷土との一体感・連帯感による絆の維持を目指す。

平成25年度(2013年度)1/3 日曜市の開催(毎月第一日曜日)

- 目的; ● 離散する住民の交流・復興後のコミュニティ再構築を目指す。
- 特産品や野菜等直売システムの構築・産業の再生につなげる。
 - 仮設店舗、産業・生活拠点の開設、運営につなげる。



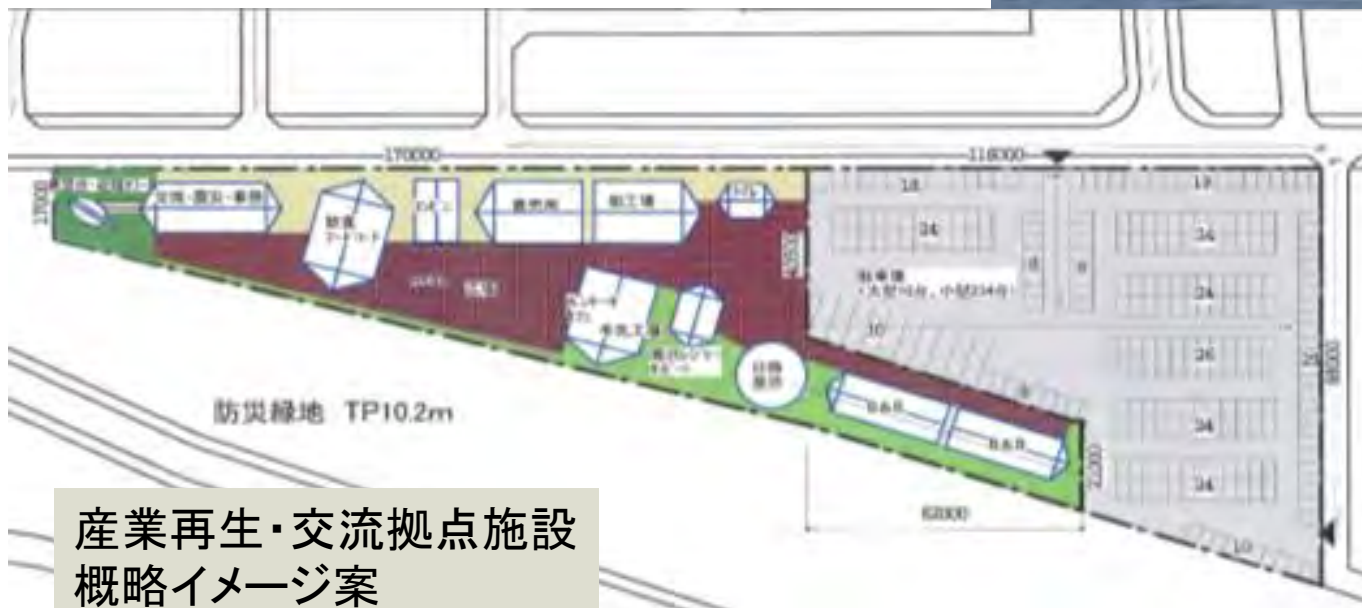
平成25年度(2013年度)2/3 産業再生に向けた取り組み

産業再生検討会議	・協議会内に産業再生検討会議を設置(約50社)3月 —各事業者の再開意向調査、今後の産業再生の検討
仮設店舗準備会	・9月22日発足、7回の会合、12名の参加者 —飲食店、協働加工所、協働販売店、魚販売店の開設を検討
視察研修 計70名参加	・11月17~18日 宮城県の仮設店舗6ヶ所、道の駅2ヶ所 ・1月26日 福島県の道の駅2ヶ所
講演会と4回の ワークショップ開催 計130名参加	・1月18日 第1回 「かーちゃんの力を発揮する」 第2回 「ひとりひとりが特産品づくりに参加する」 ・2月1日 第3回 「産業再生・交流拠点ゾーン形成に向けた拠地を考える」 ・2月2日 第4回 「道の駅」が地域づくりに果たす役割
提言発表会	・2月28日 豊間まちづくり会社、産業再生・交流拠点をつくる。

600戸のコミュニティと産業の再生;「新しい東北」先導モデル事業(復興庁)

産業再生・交流拠点づくり

住民交流・協働による産業再生拠点施設
(直売所・交流施設・特産品加工所・民宿等)



産業再生・交流拠点施設
概略イメージ案

平成25年度(2013年度)3/3 災害公営住宅団地町会づくり

◆災害公営住宅団地入居希望者への支援

9月20日 入居についての説明会開催

10月20/22日 グループ入居の支援

12月24日まで 入居手続き等の支援

◆「住戸交換方法の確認と団地町会づくり」

2月22日(土) 13:30~15:30/17:00~19:00

2月23日(日) 10:30~12:30/14:00~16:00

◆先進団地視察研修 3月1日(土)

団地自治会の活動事例 尾山台団地(上尾市)

ペット共生住宅の事例 松が丘団地(鶴ヶ島市)



平成26年度(2014年度)の 取り組み

1 住民の合意形成と計画策定推進

- 区の法人化
- 区所有地の集約化
- 町会・隣組再編成
- まちづくり会社設立
- 拠点施設整備計画策定
- 行政との調整

2 仮設店舗での実証実験

- 協働店舗の運営
- 協働加工所の運営
- コミュニティビジネスの試行
- まちづくり会社設立準備

3 災害公営住宅でのコミュニティ再生活動

- 町会・隣組づくり
- 住みのルールづくり
- 集会所等を活用した交流活動
- 高齢者の見守り活動

平成 26 年度

～

災害公営住宅への入居
(192戸)

コミュニティ再生、仮設商店街開設、
特産品開発、産業再生・交流拠点開設準備、

平成 27 年度
～30 年度

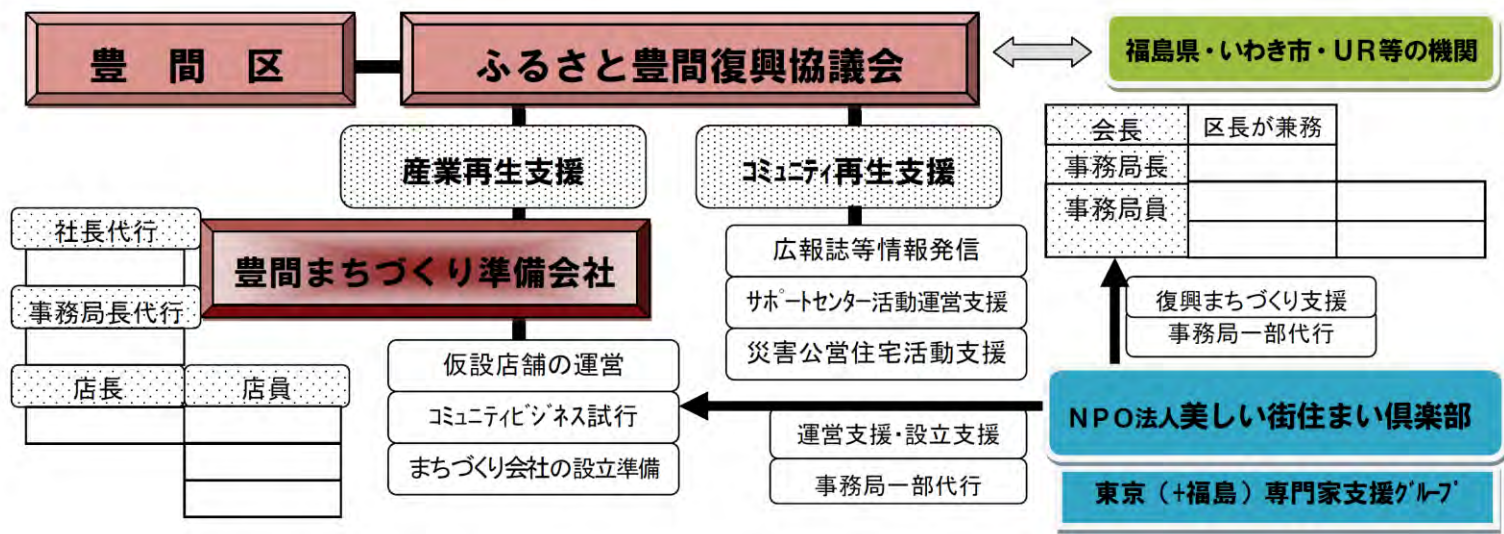
区画整理の
土地使用開始

コミュニティ
再構築

産業・生活拠点(道の駅)、B&B民宿村
特産品・見学型工場(蒲鉾など)開設

平成26年度(2014年度) 復興まちづくりの運営体制

平成 26 年度 ; 復興まちづくりの運営体制



平成23年度 (2011年度)

豊間の被災状況



いわき市の浸水状況図



いわき市豊間地区の現状図 (被災前)

いわき市全体 (33万人 13万世帯)
死者行方不明者 347名
全壊 7,640棟
豊間地区 (2千人 620世帯)
死者 85名
全壊 430棟



津波被災状況 (6月12日)



津波被災状況 (5月12日)



建物がけがきを撤去した状況 (11月24日)

平成24年度 (2012年度)

事務所・生活サポートセンターの設置



木造バリの組立て



みんなで新聞紙を丸めて断熱材に



画伯・子供による海の絵



一般有志・学生ボランティアの参加で完成



左:事務所(8坪)、右サロンの棟(14坪)

2012年5月～6月 3回7日間 ワークショップによる事務所棟建設(地元有志・一般、学生ボランティア)
資金…いわき市補助金68万円、有志寄付金100万円、その他豊間区
7月末～11月初 Tホーム支援によるサロン棟建設…有志寄付金75万円、その他豊間区

平成25年度 (2013年度)

日曜市の開催 (月1回・第1日曜日)

目的: ●離散する住民の交流を深め、復興後のコミュニティ再構築を目指す。
●特産品や野菜などの直売システムを構築し、産業の再生につなげる。
●仮設店舗、産業・生活拠点(道の駅など)の開設、運営につなげる。



防災緑地ワークショップ

第1回 4月20日(土)、第2回 5月18日(土)、第3回 6月9日(日)、第4回 6月30日(日)
提言発表会 平成25年7月28日(日)
・楽しみ、楽しみ、交流できる魅力と価値づくり ・海や砂浜の魅力が高い、地域に愛される緑地
・四季折々の彩りで南国風のような緑地 ・高台の地層のDNA(遺玉)を緑地に継承
・ドングリ採り、苗育て、植樹イベント ・住民の力で特産品となる果樹の苗木を植える

ふるさと豊間復興協議会の活動・復興プランの調整



復興協議会の活動 (被災地の中央に仮設事務所)



復興協議会の活動 (会長(区長)を中心に結束)



復興協議会の復興まちづくり計画案



市の復興計画案

- 2011年8月28日 ふるさと豊間復興協議会設立(地区各団体)
- 9月26日 復興プラン検討 協議会案を決定
- 9月29日～10月26日 市とのすり合わせ会議3回
- 10月31日 市の復興プランと条件付き一本化
- 11月10日～16日 全体町会別説明会5回、協議会主催
- 11月26日 復興方針の前提、意向調査結果報告
- 12月 災害公営住宅の早期建設を市に要望
- 2012年1月～3月 市計画案(区画整理)の協議会との調整



協議会役員と市・県とのすり合わせ会議、9月29日



協議会主催 復興方針全体説明会、11月10日～16日

住民ワークショップの開催



出された意見を班ごとに発表



参加して良かった人がー!



町会や隣組がしかかしてたね

提言	若い世代、子どもが笑える街を創る
公営住宅	第1回～第5回 9/1、9/2、10/7、11/24、11/25 ◆住民の動員 延べ130名
生活産業	第1回～第7回 9/15、9/16、10/6、11/10、12/8、12/8、12/9 ◆住民の動員 延べ180名
中間提案報告会	10月28日 最終提言発表会 平成25年1月27日
東京専門家支援グループ	延べ80名 いわき市建築士会青年女性委員会 延べ60名

情報発信コミュニティを築く



◆広報紙の毎月発行、「ふるさと豊間だより」を郵送や回覧で全戸配布を目指す。(2012年9月から)
メールによる「情報提供」やホームページの開設も準備中。
◆生活再建相談会(週2回開催、生活再建サポートセンター、12月から、専門家アドバイザーが相談員に)
◆移動連絡所、バン型自動車をリースして被災住民の仮住まいに向き豊間区移動連絡所に仕立てる。双方のきめ細かい情報交換を行い、区役員等が出向くことで郷土との一体感・連帯感による絆の維持を目指す。FACE TO FACEの情報発信。

1周年慰霊祭



30,000本のキャンドルで悼悼する。倉本製鋼副社長。



弓なりの美しい海岸線

復興庁「新しい東北」先導モデル事業：600戸のコミュニティと産業の再生

産業再生検討会議	協議会内に産業再生検討会議を設置(約50社)3月 — 各事業者の意向調査実施、今後の産業再生の検討
仮設店舗準備会	・9月22日発足、7回の会合、12名の参加者 — 飲食店、協働加工所、協働売店、魚船売店の開設を検討
視察研修 計70名参加	・11月17～18日 宮城県の大浜町6ヶ所、道の駅2ヶ所 ・1月26日 福島県の道の駅2ヶ所
講演会と4回のワークショップ開催 計130名参加	・1月18日 第1回 「かーちゃん」の力を発揮する! ・2月1日 第2回 「ひとりひとり」が力を発揮する!に参加する! ・2月2日 第3回 「産業再生・交流拠点」のまちづくりをどう考える ・2月2日 第4回 「道の駅」が地域づくりに果たす役割
提言発表会	・2月28日 豊間まちづくり会、産業再生・交流拠点をつくる。

災害公営住宅「住戸交換方法の確認と団地町会づくり」 計120名参加
1回 2月22日(土) 13:30～15:30 2回 17:00～19:00
3回 2月23日(日) 10:30～12:30 4回 14:00～16:00
先進団地視察 3月1日(土) ◎団地自治会の活動事例 尾山台団地(上海市) ◎ペット共生住宅の事例 松が丘団地(鶴ヶ島市)

平成26年度～	災害公営住宅への入居 (192戸)	コミュニティ再生、仮設商店街開設、特産品開発、産業再生・交流拠点開設準備
平成27年度～30年度	区画整理の土地活用開始	コミュニティ再構築 産業・生活拠点(道の駅)、B&B民宿村特産品・見学型工場(蒲津など)開設